

ビジネスアイディアの概要

安全、高エネルギー密度、長寿命を兼ね備えたデバイスとして、全固体電池が着目されている。その電池材料の量産に向けて、本提案では安価で安全な「水」を溶媒とするプロセスでの大気安定な電池材料製造技術をもとに、ビジネスを構築する。

事業者情報



FR 今井奎太朗

- ・大阪公立大学 博士1年
- ・JSPS特別研究員 DC1
- ・学会講演賞
- ・学内ビジコン グランプリ

ビジネスアイディアを事業化するための課題

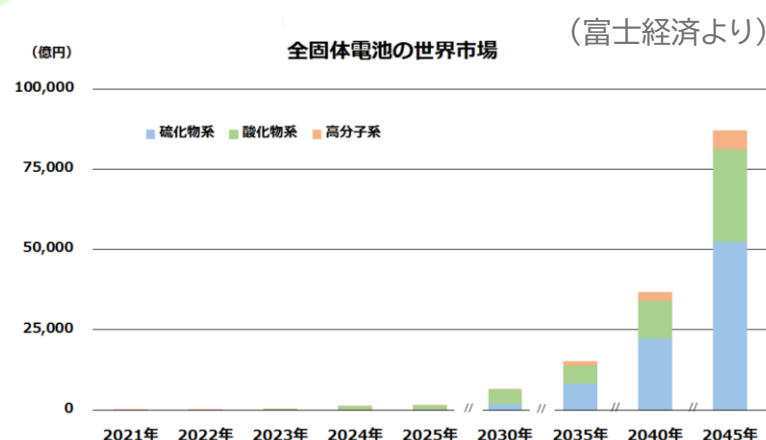
01

企業のニーズに合わせて、狙う材料系を柔軟に選び直す
現時点では材料系が限られているが、企業ヒアリングを通じて求められる材料系に適応

02

数gスケールで成立している合成を、より大きな量へ拡張する
スケールする際に生じる課題を洗い出し、対策を講じる

事業化の見通し



全固体電池の世界市場は2040年ごろに4兆円規模への成長が予測されており、本技術の市場ポテンシャルは極めて大きい。今回のNEP期間内では、本技術が事業化できるかどうかの判断材料を揃えることに注力する。技術の適合性を検証し、期間終了時には事業化を目指す。

ビジネスアイディア概要図等

水を用いた合成



全固体電池

